

(2) 研修時間をつくるくふうについて、特にどんな配慮をしているか。

(上段人員、下段%)

事 項		小 校			中 校			高 校		
		A	B	C	A	B	C	A	B	C
ア	週内に時間を設定	75	77	77	36	34	35	18	14	17
		53.6	55.0	55.0	46.2	43.6	44.9	21.2	16.5	20.0
イ	月に1～5回設定	16	21	17	27	21	22	4	6	7
		11.4	15.0	12.1	34.6	26.9	28.2	4.7	7.1	8.2
ウ	会議の減少	29	22	23	3	7	6	22	19	22
		20.7	15.7	16.4	3.8	9.0	7.7	25.9	22.4	25.9
エ	教科研究部にまかせる。	3	4	7	7	9	9	17	17	13
		2.1	2.9	5.0	9.0	11.5	11.5	20.0	20.0	15.3
オ	学年会にまかせる。	5	6	6	2	2	2	2	7	8
		3.6	4.3	4.3	2.6	2.6	2.6	2.4	8.2	9.4
カ	事務の簡素化	9	9	9	3	5	4	19	17	16
		6.4	6.4	6.4	3.8	6.4	5.1	22.4	20.0	18.8
キ	⑦ 行事の精選	1								
		0.7								
	① あき時間の活用	1	1	1				1	1	
		0.7	0.7	0.7				1.2	1.2	
	⑦ 管理職の指導強化	1								
		0.7								
	⊕ 全員研修日の設定(年)							1	1	1
								1.2	1.2	1.2
	⊕ 自主的研究会の活用							1	2	
								1.2	2.4	
⑦ 定例諸会議の実施								1		
								1.2		
⊕ 学年会、科長会の実施									1	
									1.2	

研修時間をつくるくふうについて、比率の高い順に2、3をあげると次のようである。

小学校 アーウーイ

中学校 アーイ

高等学校 アーカ、ア、エ

小・中・高等学校をとおしてのことになると、「週内に時間を設定」ということになる。特に小・中学校においては、50%内外をしめている。次は小学校では、「会議の減少」、中学校では「月に設定」である。

高等学校では、「会議の減少」、次が「事務の簡素化」、「週内に時間を設定」、「教科研究部にまかせる」がほぼ同率にあげられる。

その他として、⑦から⊕までの7項目があげられだが、学校の実情によりくふうされていることがうかがわれる。

ここで小学校における会議の減少、高等学校における会議の減少、事務の簡素化については、今後も検討を要する問題であろう。